




独立行政法人 水産総合研究センター (Fisheries Research Agency : FRA)

設立の経緯

独立行政法人水産総合研究センターは、水産に関わる調査・試験・研究を総合的に実施するため、中央省庁等改革の流れを受け、これまでの水産庁研究所を統合し、平成13年4月1日に設立されました。

-  本部 (横浜市)
-  北海道区水産研究所 (釧路市)
北光丸 (釧路市、466トン)
探海丸 (釧路市、168トン)
-  東北区水産研究所 (塩釜市)
八戸支所 (八戸市)
若鷹丸 (塩釜市、692トン)
-  中央水産研究所 (横浜市)
上田庁舎 (長野県上田市)
横須賀庁舎 (横須賀市)
高知庁舎 (高知市)
蒼鷹丸 (横浜市、892トン)
こたか丸 (高知市、59トン)
-  日本海区水産研究所 (新潟市)
みずほ丸 (新潟市、156トン)
-  遠洋水産研究所 (静岡市)
俊鷹丸 (静岡市、887トン)
-  瀬戸内海区水産研究所 (広島県大野町)
しらふじ丸 (広島県大野町、138トン)

-  西海区水産研究所 (長崎市)
石垣支所 (沖縄県石垣市)
陽光丸 (長崎市、499トン)
-  養殖研究所 (三重県南勢町)
玉城庁舎 (三重県玉城町)
日光支所 (日光市)
-  水産工学研究所 (茨城県波崎町)
たか丸 (千葉県館山市、61トン)

役割

独立行政法人水産総合研究センターは、21世紀の水産研究を担う拠点として、水産物の安定供給と水産業の健全な発展を目指し、水産海洋、水産資源、水産増養殖、水産工学、漁場環境保全、水産利用加工、水産経済等に関する基礎から応用までの調査・試験・研究を総合的に実施します。また、水産分野における試験研究を効率的に推進するため、行政機関、大学及び他の試験研究機関等との連携・調整を行います。さらに、学会発表やニュース等による広報、研修や一般公開の開催等を通じて、研究成果等の普及と利活用に努めます。